

3. 科目の種類

■ 科目の種類には、次の2種類があります。

共通科目・・・学科に関係なく、全学生が学ぶための科目

専門科目・・・各学科の専門分野を学ぶための科目

(自分の所属する学科の専門科目が、履修の中心になります)

(ただし他の学科の専門科目も「クロスオーバー履修」として自由に履修できます)

1. 共通科目

学科に関係なく、全学生が学ぶための科目です。

詳しくは「10. 教育課程表」(P.47)を参照してください。

授業内容にかかわる大きな区分として、次の5種類があります。

【基礎科目・教養科目・キャリア科目・外国語科目・スポーツ健康科目】

これらは、「必修科目」(合計8単位)と「選択科目」に分けられます。

(1) 必修科目

(外国語を含む)

すべて1学年で履修してください。もしも不合格になった場合は、再履修が必要です。最終的に1科目でも不合格になった場合は、卒業できません。

① 『スポーツ実技Ⅰ』(前期)・・・1単位

『スポーツ実技Ⅱ』(後期)・・・1単位

② 『外国語科目』(第1外国語と第2外国語の2種類が必要です)

・・・合計6単位

第1外国語 — すべて週2回の授業です。次の4ヶ国語の中から、1つを選択してください。どの外国語も、前期2単位・後期2単位です。

種類	科目名
英語	『英語AⅠ』(前期) + 『英語AⅡ』(後期)
ドイツ語	『ドイツ語AⅠ』(前期) + 『ドイツ語AⅡ』(後期)
フランス語	『フランス語AⅠ』(前期) + 『フランス語AⅡ』(後期)
中国語	『中国語AⅠ』(前期) + 『中国語AⅡ』(後期)

第2外国語 — すべて週1回の授業です。次の4ヶ国語の中から、第1外国語とは違う外国語を1つ選択してください。どの外国語も、前期1単位・後期1単位です。

種類	科目名
英語	『英語BⅠ』(前期) + 『英語BⅡ』(後期)
ドイツ語	『ドイツ語BⅠ』(前期) + 『ドイツ語BⅡ』(後期)
フランス語	『フランス語BⅠ』(前期) + 『フランス語BⅡ』(後期)
中国語	『中国語BⅠ』(前期) + 『中国語BⅡ』(後期)

※ 留学生は、必ず次のように履修してください。

履修学年	科目名	合計単位	授業形態
1 学年	『日本語 A I』(前期) + 『日本語 A II』(後期)	4	週 2 回
2 学年	『日本語 B I』(前期) + 『日本語 B II』(後期)	2	週 1 回

注)「日本語」は 1 学年と 2 学年で必ず履修しなければなりません、それに加えて、他の外国語を履修することもできます(母国語の履修は不可)。

(2) 選 択 科 目

さまざまな種類の科目があります。「シラバス」を参考にして、興味がある科目を選んでみましょう。

選択科目のうち「基礎科目」とあるもの(基礎カリテラシーA・B・C、情報機器の操作)は、これから先、大学で学んでいくための基礎力を養う科目です。なるべく 1 学年で履修することを勧めます。

また、教員免許状や学芸員資格を取得したい学生は、「教養科目」の中に必ず履修しなければならない科目があります。(P. 29 参照)

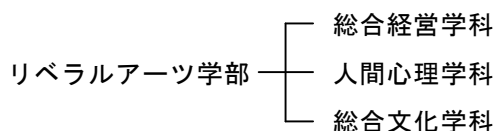
選択科目の選び方については、「5. 履修登録の方法」(P. 15)も必ず参照してください。

2. 専 門 科 目

各学科の専門分野を学ぶための科目です。

本学は 3 学科に分かれ、学科ごとに必修科目や選択科目などが異なります。

各学科の「10. 教育課程表」(P. 47~59)を参照してください。



(1) 必 修 科 目

総合経営学科・総合文化学科は合計 20 単位、人間心理学科は合計 22 単位の必修科目があります。

「開講年次」に記されている最初の学年で、必ず履修しましょう。もしも不合格になった場合は、必ず再履修しなければなりません。最終的に 1 科目でも不合格になった場合は、卒業できません。

必修科目のうち、特徴のある次の 2 科目について説明します。

① 『ゼミナール I ~ IV』

ゼミナールとは、少人数グループによる授業です。1 学年から 4 学年まで、必修科目として通年で行われます。

ゼミナールの授業内容や実施方法などは、学科によって異なりますが、原則としては次のとおりです。

『ゼミナール I・II』 — 修学の基礎などを修得する

『ゼミナール III・IV』 — 専門分野を深く学んで、卒業研究につなげる

② 『卒業研究』

大学での修学の最終的な成果を問うものです。

論文形式・発表形式など、形式や方法は学科および担当教員によって異なりますが、原則として『ゼミナールⅢ・Ⅳ』の担当教員が指導・審査します。

(2) 選 択 科 目

「共通科目」同様、各学科にはさまざまな種類の科目があります。「シラバス」を参考にして、興味がある科目を選んでみましょう。

また、教員免許状や学芸員資格を取得したい学生は、「選択科目」の中に必ず履修しなければならない科目があります。(P. 29 参照)

選択科目の選び方については、「5. 履修登録の方法」(P. 15)も必ず参照してください。

○ コ ー ス 制 度

学科ごとに、いくつかのコースが設定されています。

これらのコースは、各学科の中でさらに専門分野を学ぶための指針です。

総合経営学科	人間心理学科	総合文化学科
・ 経営コース ・ 会計コース ・ 組織マネジメントコース ・ 国際秘書コース ・ ITコース ・ スポーツマネジメントコース	・ 心理学コース ・ 医療心理コース ・ カウンセリングコース	・ 欧米文化コース ・ 日本文化コース ・ 社会教養コース ・ 生涯学習コース ・ 芸術学コース

○ コースの選択時期

原則として、2 学年進級時に、各自のコースを選ぶことになります。

○ コ ー ス 科 目

コースごとに「コース科目」が設定されています。(各学科の専門科目に限らず、「共通科目」にも設定されています)

コース科目については、「10. 教育課程表」(P. 47)を参照してください。

これらはすべて選択科目ですが、コースにふさわしい専門分野を学ぶために履修することが望ましい科目ですから、できるだけ履修しましょう。

ただし、各自で選んだコースのコース科目を、必ず履修しなければならないという規則はありません。また、他コースの科目も、自由に履修できます。